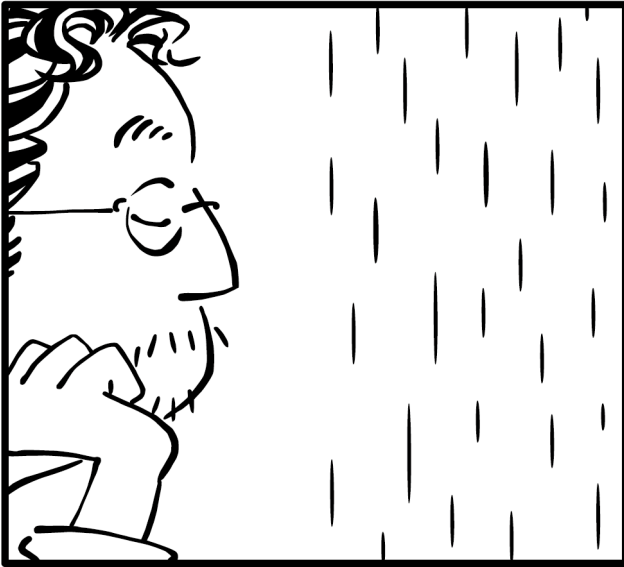


雨の日も

晴れの日も

風の日も

masa sumidé



① Groove On (DADGAD)

「僕らしい曲」で幕開け！ そう自分で言うのはおこがましいですが、この手のリズムは大好きですし、説明はいらないですよ。

② Mama Duck & Baby Ducks (D♭A♭D♭EBE)

カルガモ親子の物語。可愛い子供たちを先導しつつ歩くお母さん鴨。一方、お母さんに必死になってついていく健気なベイビーたち・・・もうお馴染みのシーンですよ。ただ、いつも思うのは「お父さん」はどこへ行った(?)という疑問(笑)。ちょこまかと歩き回るベイビーたちをイメージして、ロックンロールでまとめてみました。鴨～！

③ Pink Cat (standard)

「ピンク」と来れば、次は「パンサー」となりそうですが、ネコです(笑)。この曲のようにマイナーシングとなると、なぜか猫が頭に浮かぶんですよ。と言っても、甘えてくるタイプではなく、抜き足差し足のしたたかなタイプのほう(笑)。

④ 雨の日も晴れの日も風の日も Rainy Days, Sunny Days, Windy Days (dropped D / 2カポ)

CDのタイトル曲。どんな日でも自分が好きなものを追いかけていたい・・・そんな気分がテーマです。僕の場合、その対象は、やっぱり「ギター」ですね。もちろん、男女関係にも共通して言えますが、あなたの対象は何か？

⑤ 冬ごころ A Winter Mood (dropped D)

岸部真明くんとお互いに1曲づつ作曲し合って始まった「アコギ四季シリーズ」(岸部くん作は「春ごころ」)ですが、今回のアルバムで「冬」と「夏」が揃い完結。最近の異常気象で四季がはっきりしなくなった感がありますが、日本ならではの四季には、それぞれ独特の美しさがあります。この作品は「冬」がテーマですので、やはり、暗く、寒く(?)響くかと思えます(笑)。でも、次に巡って来る「春」を思えば、希望も湧いてきますよね。四季とは、そういうものかもしれません。

⑥ キミは誰かの宝もの You're Someone's Treasure (EADGBD)

このタイトル、じつは、高松にあるライブハウス・RUFFHOUSEの店長の今城さんからもらったものです。ある日、彼のフェイスブックページで彼がこの言葉をつぶやいていたのを見て、即座に「これ、曲のタイトルにいいなあ」と閃きました。人それぞれ「自分はひとりぼっち」なんて寂しく感じる時があるかと思いますが、どこかで、あなたのことを「宝もの」と思ってくれている人がいるはず・・・そんなメッセージです。

⑦ 乱・乱・乱 Turbulence (dropped D)

この「乱」は「乱気流」から来ています。「ラン・ラン・ラン」と発音すると可愛く響きますが、大の飛行機嫌いの僕には怖い単語となります(笑)。「あの揺れ」が恐ろしくしてやがらないので、できるだけ飛行機に乗ることを避けています。そんな、ある意味、自分の恐怖心を題材にしたわけですが、ライブでは乱気流を思い出して弾けないかも、ですね。ので、次の題材は「電車」かな(笑)。

⑧ 2-Chord Funk (standard)

タイトル通り、主に2つのコード「A7とD7」を中心に展開していくファンキーな作品。そんな限られた和音の中で、最後まで飽きないように構成、演奏していけるか、というのもテーマになっています。

⑨ 忘れられない人びと Unforgettable People (standard)

人生、楽しいことだけではなく、悲しいこともつきものです。とくに「別れ」は誰にとっても辛いもの。このバラードは「忘れられない人びと」への感謝の気持ちと、もう思い出と夢の中でしか会えない存在になってしまった人びとに対する哀悼も表しています。

⑩ 美しい孤独 Sweet Solitude (DADGB♭D)

僕はグルーヴ系のリズムものも好きですが、じつは、ヨーロッパ系のメロディーも大好きなんです。とくに、半音が上手く使われてパリの香りがするもの。この曲も、そんな流れに沿って、僕なりの解釈で創造していきました。もの悲しい感じが、タイトルと相まってうまく転んだかな、なんて自画自賛(笑)。

11 魅惑アイランド
Passion Island

(DADG ♭ BE)

縁があって、数年前に何度か沖縄でレコーディングをしました。スタジオから近いところに美しいビーチがあったり、緊張と緩和のバランスが保てる最高の環境。そして、つかの間の休日には遠出をして海めぐり・・・あの澄んだ海を見れば、一瞬にしてすべてがリセットされます。心も軽くなります。そんな魅力あふれる沖縄の島々をイメージしながら作曲しました。ギリギリした太陽と青い海が見えたら、僕にとって「ご正解」となります。で、オリオンビール、プリ～ズ（笑）。

12 夏ごころ
A Summer Mood

(standard)

「アコギ四季シリーズ」の「夏」遍。夏と言えば、弾心。ゆえ、弾んだリズムでハッピーな感じに仕上げました。そして、意識的に80年代のポップスを念頭に、味付けしていきました。夏と言えば若い人たちの季節なのでしょうが、“シニア・ギタリスト”にとっても若返る期間なんですよ。そう、精神年齢には、いつも夏（＝青春）です！

13 K9 Rag

(DADEAD/4カポ)

「K9」って、ギターのコード？ なんて思われる方がおられるかもしれませんが、これは“canine”（ケイナイン＝犬科の）という英単語をコード表記のように書いたものです。犬好きの僕にとっては、あったら嬉しいコードですが、もちろん存在しません、あしからず。タイトルに「ラグ」とあるように、あえて苦手なギャロピング奏法に挑戦しております。いつまでたっても、僕にとって難しいピッキングと言わざるをえませんが、頑張って挑戦しました。犬がはしゃぎ回る姿が浮かぶでしょうか・・・

14 君に寄り添う月灯り
Wrapped In Moonlight

(EADGBE ♭)

よく「星」とか「月」は曲の題材になりますが、この曲は月灯りをイメージしました。曲調は寂しく響くかもしれませんが、あくまでも、包み込む様なあたたかい気分。チューニングですが、1弦を半音下げたもので、キーを「E」でいくと、丁度、メジャー7の音がトップにくる感じになるので、気持ちよく響きます。僕は、星とか月には、メジャー7の音が似合うと思います。

プロデューサー：住出勝則（Masa Sumide）

録音スタジオ：Music Well Studio、大阪・吹田市

ミックス / マスタリング：戸田篤志

録音日：2019年1月17日～21日

アートワーク：sasakikazuhisa

使用ギター：Stevens Custome Guitar（made in Germany）

使用弦：Elixir Nanoweb Phosphor Bronze（Custom Light）

使用マイク：AKG C4513B 2本

(C)(P) 2019 Skinny Dog Music. All rights reserved.

不許複製。